

地球惑星科学専攻 地球科学輻合部特別講演会

2009年6月30日(火曜日) 16時00分～

京都大学理学部1号館5階563号室

「日本列島周辺の相似地震活動」

五十嵐 俊博

東京大学地震研究所

要旨：

異なる二つ地震から得られた波形を比較すると非常によく似ていることがある。波形の相似な地震は、高精度の到達時刻読み取りが可能であり、高精度相対震源決定によく利用されている。とりわけ、同じ場所で同じメカニズム解を持つ小繰り返し地震は、これまで東北日本沈み込み帯で数多く発見され、それらは、プレート境界面のすべり・固着の情報を与えることがわかってきた。また、これらは地震の再来特性を調べる上でも重要である。

そこで我々は、解析領域を広げ、フィリピン海プレートの沈み込みおよび、内陸浅発地震を含む、日本列島全域にわたる相似地震の発生調査を行った。本発表では、地域毎に見られる時間・空間分布の特徴を紹介する。

問い合わせ先：宮崎 真一